

令和 2 年度

入 学 者 選 拔 要 項



浜松医科大学

Hamamatsu University School of Medicine

目 次

令和2年度浜松医科大学入学者選抜日程	1
浜松医科大学 アドミッション・ポリシー	
[医学部医学科]	2
[医学部看護学科]	3
令和2年度浜松医科大学入学者選抜における変更事項について	4
I 入学定員及び募集人員	6
II 入 学 者 選 抜 方 法	6
1 一 般 入 試	7
2 一般入試以外の入試	9
III 身体に障害を有する入学志願者との事前相談	16
IV 学生募集要項の公表	16
V 個別学力検査結果の情報提供について	16
VI 入学試験に関する照会及び学生募集要項の請求方法	16
VII 個別入学資格審査の実施について	17
付表1 令和2年度浜松医科大学入学者選抜方法等（一般入試、専門高校・総合学科卒業生選抜、 アドミッション・オフィス入試）	18
付表2 令和2年度浜松医科大学入学者選抜方法等	19
付表3 令和2年度浜松医科大学入学者選抜の実施教科・科目等について	20
付表4 令和3年度浜松医科大学入学者選抜（令和2年度実施）について（予告）	21
令和2年度浜松医科大学学生募集要項等の請求について	22

浜松医科大学 アドミッション・ポリシー

建学の理念

第1に優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する。

〔医学部医学科〕

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医学部医学科では、本学の建学の理念を尊重し、将来、臨床医や医学研究者として社会に貢献できる以下の人材を求めており、志願者の資質と能力を総合的に評価して選抜します。

1. 医学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人。
2. 生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人。
3. 他者への思いやりと協調性、倫理観を有し、社会的規範に基づく行動がとれる人。
4. 自然科学への好奇心が旺盛で、豊かな創造力と論理的思考能力を有する人。
5. 国際社会や地域社会の情勢に関心を持ち、社会的要請に応えようとする意欲がある人。

●入学者選抜の基本方針

アドミッション・ポリシーに沿った人材を選抜するために、医学科では、一般入試、推薦入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試を実施しています。また、医学以外の学問分野を経験した人を対象に2年次への学士編入学試験を実施しています。

1. 一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程は、大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書、後期日程は、大学入試センター試験、小論文、面接及び調査書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

2. 特別入試（推薦入試）

推薦入試は、大学入試センター試験、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

3. 特別入試（帰国子女入試）

帰国子女入試は、小論文、適性検査、面接、成績証明書、推薦書、志願理由書及び調査書に加えて各国の教育制度による国家試験等の統一試験により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

4. 特別入試（私費外国人留学生入試）

私費外国人留学生入試は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」、個別学力検査及び面接により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

5. 第2年次編入学試験

第2年次編入学試験は、個別学力検査、小論文、面接、成績証明書、推薦書及び志願理由書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学科では高等学校等までの各教科において、医学・医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力と応用力を身につけていることが望まれ、かつ全人的教育を受けるべく素養を身につけていることが不可欠です。その中でも、特に以下の能力を身につけることを望みます。

1. 国語については、日本語を正確に理解し自らを適切に表現する能力と、他者の考えを正しく理解する能力
2. 地理歴史・公民については、国際社会において主体的に生きるという自覚を持ち、良識ある公民として行動する能力
3. 数学については、基礎的知識の理解と習得に加え、事象を数学的に表現して考察する能力と、数学的論拠に基づいて判断する能力
4. 理科については、自然科学全般に関して深い理解と洞察力を持ち、事象を科学的思考に基づいて判断する能力
5. 英語については、積極的に国際社会の人々とコミュニケーションを図ろうとする意識を持ち、論理の展開や表現方法を工夫して、自分の意見を適切に伝えるコミュニケーション能力

[医学部看護学科]

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医学部看護学科では、人間の生命、人間としての尊厳を重んじる倫理観と豊かな人間性、科学的知識に裏付けられた看護実践の能力を持つ看護者の育成を目指した教育を行っています。これからの看護を担うことができる以下の人材を求めています。

1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人。
2. 生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人。
3. 他者への思いやりと協調性、倫理観を有する人。
4. 科学的好奇心が旺盛で、論理的思考能力を有する人。
5. 社会の情勢に関心を持ち、人々の健康・福祉のために貢献する意欲がある人。

●入学者選抜の基本方針

アドミッション・ポリシーに沿った人材を選抜するために、看護学科では、一般入試、推薦入試、帰国子女入試及び社会人入試を実施しています。また、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象として3年次編入学試験を実施しています。

1. 一般入試（前期日程）
一般入試（前期日程）は、大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
2. 特別入試（推薦入試）
推薦入試は、大学入試センター試験、小論文、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
3. 特別入試（帰国子女入試）
帰国子女入試は、小論文、面接、成績証明書、推薦書、志願理由書及び調査書に加えて各国の教育制度による国家試験等の統一試験により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
4. 特別入試（社会人入試）
社会人入試は、小論文、面接、調査書、推薦書及び志願理由書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
5. 第3年次編入学試験
第3年次編入学試験は、個別学力検査、面接及び成績証明書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学科では、高等学校等までの各教科において、看護学を学ぶための基礎的な知識・技能を身につけていることが望まれ、かつ全人的教育を受けるべく素養を身につけていることが不可欠です。その中でも、特に以下の能力を身につけることを望みます。

1. 国語については、他者の意見や考えを正しく理解し、自らの意見や考えを適切に表現する能力
2. 地理歴史・公民については、現在の社会情勢を理解でき、良識ある公民として行動する能力
3. 数学については、基本的事項を理解し、事象を論理的にとらえ、解釈できる能力
4. 理科については、自然科学の基礎的知識を持ち、事象を科学的に理解する能力
5. 英語については、積極的に国際社会の人々とコミュニケーションを図ろうとする意識を持ち、相手の考えを正しく理解し、自分の意見を適切に伝えるコミュニケーション能力

令和2年度浜松医科大学入学者選抜における変更事項について

令和2年度入学者選抜における入試方法等の変更についてお知らせいたします。

●医学部医学科

(1) 一般入試（前期日程・後期日程）、推薦入試

【変更内容】 募集人員の変更

浜松医科大学医学部医学科の募集人員における増員分15名の暫定措置が、令和元年度で終了します。

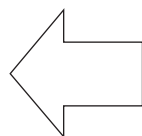
そのため、令和2年度募集人員を下記のとおり変更します。

ただし、変更（減員）分について増員申請をすることとしており、認められた場合は増員分を「地域医療枠」とする予定です。

なお、「地域医療枠」の詳細については各募集要項または浜松医科大学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

【変更後】

入試区分		募集人員 (増員申請 予定数)	
一般入試	前期日程	66	(9)
	後期日程	14	(1)
特別選抜	推薦入試	20	(5)
合 計		100	(15)



【変更前】

入試区分		募集人員	
一般入試	前期日程	75	
	後期日程	15	
特別選抜	推薦入試	25	
合 計		115	

※「地域医療枠」とは、静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金貸与を希望する場合の出願区分です。

●Web出願

昨年度から一般入試においてWeb出願を導入しておりますが、今年度より推薦入試においてもWeb出願を行います。

【対象となる入試】

- ・医学科
推薦入試、一般入試（前期日程・後期日程）
- ・看護学科
推薦入試、一般入試（前期日程）

Web出願とは出願者がパソコン・スマートフォン等を利用して、出願画面から説明手順に従って入力することにより、出願手続きを行うものです。また、紙での出願との併用は行いません。

【メリット】

- ・スマートフォンやタブレットから24時間出願可能
- ・学生募集要項の取り寄せ不要
- ・コンビニ、クレジットカード、Pay-easyから入学検定料の支払いが可能
- ・記入漏れ防止チェックにより入力ミスを防止

その他詳細については、各募集要項または浜松医科大学ホームページ等を参考にしてください。

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/faculty/guideline/web-syutsugan.html>

令和2年度入学選抜要項

I 入学定員及び募集人員

学 部	学 科	入学定員	一般入試募集人員		一般入試以外の入試募集人員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	帰国子女入試	社会人入試	私費外国人留学生入試
医学部	医 学 科	100	66	14	20	若干名	———	若干名
	看護学科	60	40	——	20	若干名	若干名	———

- 注 1 医学科推薦入試の募集人員には、帰国子女入試若干名を含みます。
 2 医学科前期日程の募集人員には、私費外国人留学生入試若干名を含みます。
 3 看護学科推薦入試の募集人員には、帰国子女入試の募集人員若干名及び社会人入試の募集人員若干名を含みます。
 4 医学科の入学定員については、一般入試（前期日程）については9名、一般入試（後期日程）については1名、推薦入試については5名を、それぞれ増員申請を予定しています。
 認められた場合は増員分を「地域医療枠」とする予定です。
 この増員については、医師不足が深刻な地域や診療科に対し、不足する地域等の医療機関に勤務する医師を確保するため、医学科入学定員の増員が必要であると国から示されたことに、本学として地域医療に貢献できる医師を養成し、不足する地域等に医師の定着を図るため、入学定員の増員を申請するものです。

II 入学選抜方法

本学の入学選抜は、一般入試（分離・分割方式）及び推薦入試、帰国子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試により実施します

- ・一般入試は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。
- ・「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。
- ・本学の医学科における「前期日程」と「後期日程」の併願は認めます。
- ・本学の「推薦入試」に出願する人は、他の国公立大学の「推薦入試」には出願できません。
- ・本学の一般入試以外の入試に不合格となった場合に備えて、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。

1 一般入試

(1) 出願資格

次のいずれかに該当し、令和2年度大学入試センター試験の教科・科目のうち本学の指定する教科・科目をすべて受験した人としてします。

ア 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和2年3月卒業見込みの人

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和2年3月修了見込みの人

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの人

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づき、本学の個別の入学資格審査を申請する人は、所要の手続きをとってください(17ページを参照)。

(2) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	教 科	科 目	科目数
医 学 科	国 語	『国語』	5教科 7科目
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』 } から1科目	
	数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	
	理 科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目	
	外 国 語	『英語』(リスニングを含む。)	
看 護 学 科	国 語	『国語』	5教科 5又は 6科目
	地 理 歴 史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』 } から1科目	
	数 学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ・数学A』、 「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、 } から1科目 『簿記・会計』、『情報関係基礎』	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目 又は 「物理」、「化学」、「生物」から1科目	
	外 国 語	『英語』(リスニングを含む。)	

・指定した教科・科目数を超えて受験した場合には、第1解答科目の成績を利用します。ただし、看護学科の数学においては、高得点の科目の成績を利用します。

・看護学科の理科において、「物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目」及び「物理、化学、生物から1科目」を選択した場合は、いずれか高得点の成績を利用します。

・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限ります。

(3) 前期日程

ア 選抜方法

医 学 科 …… 大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

看 護 学 科 …… 大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

イ 大学入試センター試験と個別学力検査等の配点(詳細は20ページ「付表3」を参照)

学 科	区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面接	配点合計
医 学 科	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	100	50		100	100	100	—	—	450
	個別学力検査等	—	—		200	200	200	—	100	700
看 護 学 科	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	200	100		100	100	200	—	—	700
	個別学力検査等	—	—		—	—	200	—	50	250

ウ 個別学力検査等の日程

医 学 科 …… 令和2年2月25日（火）・26日（水）

看護学科 …… 令和2年2月25日（火）

エ 個別学力検査の実施教科・科目等

学科	教 科・科目名等		備 考
医 学 科	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、 「数学A」、「数学B」	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から 出題します。 「数学B」は「数列」及び「ベクトル」から出題します。
	理 科	『物理基礎・物理』、 『化学基礎・化学』、 『生物基礎・生物』 の3科目のうち、あらかじめ出願 の際に届け出た2科目	『物理基礎・物理』は、「物理基礎」、「物理」の全範囲から 出題します。 『化学基礎・化学』は、「化学基礎」、「化学」の全範囲から 出題します。 『生物基礎・生物』は、「生物基礎」、「生物」の全範囲から 出題します。
	外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、 「コミュニケーション英語Ⅱ」、 「コミュニケーション英語Ⅲ」、 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」	左の科目の範囲から出題します。 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」は「書くこと」を出題します。
看護 学科	外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、 「コミュニケーション英語Ⅱ」、 「コミュニケーション英語Ⅲ」、 「英語表現Ⅰ」	左の科目の範囲から出題します。 「英語表現Ⅰ」は「書くこと」を出題します。

(4) 後期日程

ア 選抜方法

医 学 科 …… 大学入試センター試験、小論文、面接及び調査書により学力やその他の資
質を総合的に評価し、合格者を決定します。

イ 大学入試センター試験と個別学力検査等の配点（詳細は20ページ「付表3」を参照）

学科	区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	面接	配点合計
医 学 科	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	200	100		200	200	200	—	—	900
	個別学力検査等	—	—		—	—	—	100	250	350

ウ 個別学力検査等の日程

医 学 科 …… 令和2年3月12日（木）

(5) 2段階選抜の実施

医学部医学科において、入学志願者が前期日程の募集人員の4倍、後期日程の募集人員の10倍を
超えた場合は、大学入試センター試験（医学科が指定する教科・科目〔5教科7科目900点満点〕）
の成績により第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対
して第2段階選抜として個別学力検査等を実施します。

実施の有無については、令和2年2月12日（水）に本学ホームページに掲載します。

第1段階選抜時の大学入試センターの試験の配点は下記のとおりです。

区 分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	配点合計
大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	200	100		200	200	200	900

2 一般入試以外の入試（「付表2」を参照）

推 薦 入 試

実施学部・学科名	医学部医学科																																	
募 集 人 員	20名（帰国子女入試若干名を含みます。）																																	
出 願 要 件	高等学校（日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を含む。以下同じ。）若しくは中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの人[留学（学校教育法施行規則第93条に該当する人）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する人）により令和元年度途中で高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人を含む。]で、令和2年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験し、次の要件を満たす人としします。 1 本学医学部医学科のアドミッション・ポリシー（本要項2ページ参照）に該当する人 2 高等学校における調査書の「学習成績概評」がA段階（「全体の評定平均値」が5.0～4.3）に属し、人物が優秀、健康であり、学校長が責任をもって推薦できる人 3 合格した場合は、入学することを確約できる人 なお、学校長が推薦できる人数は、1校5名以内とします。																																	
選 抜 方 法 等	1 大学入試センター試験、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。 配点 <table><tr><td>大学入試センター試験</td><td>小論文</td><td>適性検査</td><td>面接</td><td>配点合計</td></tr><tr><td>900点</td><td>100点</td><td>300点</td><td>150点</td><td>1,450点</td></tr></table> 2 適性検査は、問題を発見し、これを理解して発展させ、論理的解決に導く能力を見るものです。それには、自然科学の素養等が含まれます。 《大学入試センター試験の利用教科・科目等》 <table><tr><td>教 科</td><td>科 目</td><td>配 点</td><td>合 計</td></tr><tr><td>国 語</td><td>『国語』</td><td>200点</td><td rowspan="5">900点</td></tr><tr><td>地 歴 公 民</td><td>「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 『倫理、政治・経済』</td><td>100点</td></tr><tr><td>数 学</td><td>『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』</td><td>200点</td></tr><tr><td>理 科</td><td>「物理」、「化学」、「生物」から2科目</td><td>200点</td></tr><tr><td>外国語</td><td>『英語』（リスニングを含む。）</td><td>200点</td></tr></table> 本学が指定した教科の地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。				大学入試センター試験	小論文	適性検査	面接	配点合計	900点	100点	300点	150点	1,450点	教 科	科 目	配 点	合 計	国 語	『国語』	200点	900点	地 歴 公 民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 『倫理、政治・経済』	100点	数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	200点	理 科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目	200点	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点
大学入試センター試験	小論文	適性検査	面接	配点合計																														
900点	100点	300点	150点	1,450点																														
教 科	科 目	配 点	合 計																															
国 語	『国語』	200点	900点																															
地 歴 公 民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 『倫理、政治・経済』	100点																																
数 学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』	200点																																
理 科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目	200点																																
外国語	『英語』（リスニングを含む。）	200点																																
出 願 期 間	令和元年11月 1 日（金）～令和元年11月8日（金）																																	
選 抜 期 日	令和2年2月 1 日（土）・令和2年2月2日（日）																																	
合 格 発 表 日	令和2年2月12日（水）																																	
そ の 他	本学に出願した人は、他の国公立大学の推薦入試には出願できません。																																	

推 薦 入 試

実施学部・学科名	医学部看護学科											
募 集 人 員	20名（帰国子女入試若干名及び社会人入試若干名を含みます。）											
出 願 要 件	高等学校（日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を含む。以下同じ。）若しくは中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの人及び平成31年3月以降に卒業した人で次の要件を満たす人としします。 1 本学医学部看護学科のアドミッション・ポリシー（本要項3ページ参照）に該当する人 2 高等学校における調査書の「全体の評定平均値」が3.8以上の人で、人物が優秀、健康であり、学校長が責任をもって推薦できる人 3 合格した場合は、入学することを確約できる人 なお、学校長が推薦できる人数は、1校3名以内とします。											
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験、小論文、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。 配点 <table><tr><td>大学入試センター試験</td><td>小論文</td><td>面接</td><td>配点合計</td></tr><tr><td>350点</td><td>200点</td><td>150点</td><td>700点</td></tr></table>				大学入試センター試験	小論文	面接	配点合計	350点	200点	150点	700点
	大学入試センター試験	小論文	面接	配点合計								
	350点	200点	150点	700点								
	《大学入試センター試験の利用教科・科目等》											
	教 科	科 目		配 点	合 計							
	国 語	『国語』		100点	350点							
	地 歴 公 民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 『倫理、政治・経済』		50点								
	数 学	「数学I」、『数学I・数学A』、 「数学II」、『数学II・数学B』、 『簿記・会計』、『情報関係基礎』		50点								
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目 又は「物理」、「化学」、「生物」から1科目		50点								
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）		100点								
本学が指定した教科の地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。 看護学科の数学においては、高得点の科目の成績を利用します。 本学が指定した教科の理科において、「物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目」及び「物理、化学、生物から1科目」を選択した場合は、いずれか高得点の成績を利用します。												
出 願 期 間	令和元年11月 1 日（金）～令和元年11月8日（金）											
選 抜 期 日	令和2年 2 月 1 日（土）											
合 格 発 表 日	令和2年 2 月12日（水）											
そ の 他	本学に出願した人は、他の国公立大学の推薦入試には出願できません。											

帰国子女入試

実施学部・学科名	医学部医学科														
募 集 人 員	若干名														
出 願 要 件	日本国籍又は日本国の永住許可を有し、保護者の海外勤務等の事情により、外国の学校教育を受けた人で、次のいずれかに該当する人としします。 1 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）又は卒業見込み（修了見込み）の人 ただし、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている人 2 外国において、次の資格のいずれかを2018年又は2019年に取得した人 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する人 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する人 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する人														
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、次のとおり選考を行います。 小論文、適性検査、面接、成績証明書、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。また、各国の教育制度による国家試験等の統一試験（SAT：アメリカ、ACT：アメリカ、GCE：イギリス、Abitur：ドイツ、Baccalauréat：フランス等）を受験している人は、選考の際にその成績を参考にします。 配点 <table><tr><td>小論文Ⅰ</td><td>小論文Ⅱ</td><td>適性検査</td><td>面接</td><td>配点合計</td></tr><tr><td>100点</td><td>200点</td><td>300点</td><td>150点</td><td>750点</td></tr></table> 適性検査は、問題を発見し、これを理解して発展させ、論理的解決に導く能力を見るものです。それには、自然科学の素養等が含まれます。					小論文Ⅰ	小論文Ⅱ	適性検査	面接	配点合計	100点	200点	300点	150点	750点
小論文Ⅰ	小論文Ⅱ	適性検査	面接	配点合計											
100点	200点	300点	150点	750点											
出 願 期 間	令和元年11月 1 日（金）～令和元年11月 8 日（金）														
選 抜 期 日	令和2年 2 月 1 日（土）・令和2年2月2日（日）														
合 格 発 表 日	令和2年 2 月12日（水）														
そ の 他	外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。														

帰国子女入試

実施学部・学科名	医学部看護学科
募 集 人 員	若干名
出 願 要 件	日本国籍又は日本国の永住許可を有し、保護者の海外勤務等の事情により、外国の学校教育を受けた人で、次のいずれかに該当する人とします。 1 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）又は卒業見込み（修了見込み）の人 ただし、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている人 2 外国において、次の資格のいずれかを2018年又は2019年に取得した人 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する人 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する人 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する人
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、次のとおり選考を行います。 小論文、面接、成績証明書、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。また、各国の教育制度による国家試験等の統一試験（SAT：アメリカ、ACT：アメリカ、GCE：イギリス、Abitur：ドイツ、Baccalauréat：フランス等）を受験している人は、選考の際にその成績を参考にします。 試験科目：小論文、面接 ※配点等の詳細については今後公表する学生募集要項及び本学ホームページ等を参照してください。
出 願 期 間	令和元年11月 1 日（金）～令和元年11月 8 日（金）
選 抜 期 日	令和2年 2 月 1 日（土）
合 格 発 表 日	令和2年 2 月12日（水）
そ の 他	外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。

社 会 人 入 試

実施学部・学科名	医学部看護学科
募 集 人 員	若干名
出 願 要 件	令和2年3月31日までに21歳に達し、職務経験が3年以上の人で、次のいずれかに該当し、合格した場合は、入学することを確約できる人としてします。 1 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人又は学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した人
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、次のとおり選考を行います。 小論文、面接、調査書、推薦書（推薦者は問いません。）及び志願理由書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。 試験科目：小論文、面接 ※配点等の詳細については今後公表する学生募集要項及び本学ホームページ等を参照してください。
出 願 期 間	令和元年11月 1 日（金）～令和元年11月 8 日（金）
選 抜 期 日	令和2年 2 月 1 日（土）
合 格 発 表 日	令和2年 2 月12日（水）
そ の 他	

私費外国人留学生入試

実施学部・学科名	医学部医学科
募 集 人 員	若干名
出 願 要 件	日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法において、「留学」の在留資格を有する人、又は本学入学に際し当該資格を「留学」に変更できる人で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2019年度日本留学試験（理系）」の日本語、数学（コース2）、理科（物理、化学、生物から2科目選択）を受験し、次のいずれかに該当する人 1 外国において、学校教育における12年の課程を修了した人及び令和2年3月31日までに修了見込みの人 2 外国において、学校教育における12年の課程を修了した人と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。）に合格した人 3 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した人（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した人を含む。）で、「外国において学校教育における12年の課程を修了した者に準ずる者を指定する件（昭和56年10月3日文部省告示第153号）」に定める教育施設において我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した人及び修了見込みの人 4 スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する人 5 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する人 6 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する人
選 抜 方 法 等	入学者の選抜は、本学医学部医学科の教育課程を修学し得る能力と適性を備えている人を選抜するため、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2019年度日本留学試験」、個別学力検査及び面接により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。 ただし、これらの検査（個別学力検査及び面接）のうち1つでも受験しなかった人は失格とします。

（15ページに続く）

選 抜 方 法 等	個別学力検査の実施教科・科目等					
	教 科 ・ 科 目 名 等				備 考	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、 「数学Ⅲ」、「数学A」、 「数学B」			左の科目の範囲から出題します。 ただし、「数学B」は、「数列」 及び「ベクトル」の2項目を出題 範囲とします。	
	理 科	『物理基礎・物理』 『化学基礎・化学』 『生物基礎・生物』			物理、化学及び生物は左の科目 の各範囲から出題し、うち2科目 を選択し解答させます。	
	外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、 「コミュニケーション英語Ⅱ」、 「コミュニケーション英語Ⅲ」、 「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」			左の科目の範囲から出題します。 ただし、「英語表現Ⅰ」、「英 語表現Ⅱ」は、「書くこと」を出 題します。	
	(注) 解答は日本語とします。					
	配点					
	日本留学試験	数学	理科	外国語（英語）	面接	配点合計
	850点	200点	200点	200点	100点	1,550点
	出 願 期 間	令和2年1月27日（月）～令和2年2月5日（水）				
選 抜 期 日	令和2年2月25日（火）・令和2年2月26日（水）					
合 格 発 表 日	令和2年3月6日（金）					
そ の 他						

Ⅲ 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する人で、身体に障害がある場合は、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、出願期間初日2週間前までに、下記照会先宛に以下の書類を提出してください。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁することができる者等との面談等を行います。

1 受験上の配慮等申請書（様式任意）

次の事項を記載してください。

- (1) 志望する募集区分名
- (2) 障害の種類・程度
- (3) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (4) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (5) 日常生活の状況

2 現症及び配慮を必要とする具体的な措置等を記載した公的証明書

例1 障害者手帳（コピー）

例2 高等学校等が発行する所見（現在の高等学校等での対応内容等も記載）

例3 医師の診断書（コピー）

事前相談については時間がかかる場合もあるので、早めに申し出てください。

Ⅳ 学生募集要項の公表

この要項で発表したことのほか、募集人員、出願期間・手続き、個別学力検査等の実施期日・時間割、試験場、検定料その他入学に要する経費等の細目については、学生募集要項により公表します。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| (1) 推薦入試 | 7月上旬公表予定 |
| (2) 帰国子女入試・社会人入試 | 8月下旬公表予定 |
| (3) 一般入試（前期日程・後期日程）・私費外国人留学生入試 | 10月下旬公表予定 |

Ⅴ 個別学力検査結果の情報提供について

本学では、令和2年度入学試験のうち一般入試（前期日程・後期日程）、推薦入試（医学科）、私費外国人留学生入試及び帰国子女入試（医学科のみ）において、本学個別学力検査等の結果（面接評価を除く。）について情報提供を請求した人に情報を提供します。手続き方法等については、Ⅵで公表する募集要項に記載します。

Ⅵ 入学試験に関する照会及び学生募集要項の請求方法

学生募集要項の種類	請 求 の 方 法
・ 一般入試学生募集要項 ・ 推薦入試学生募集要項 ・ 帰国子女入試学生募集要項（*） ・ 社会人入試学生募集要項（*） ・ 私費外国人留学生入試学生募集要項（*）	学生募集要項は、本学のホームページ、テレメール、携帯電話サイトのいずれかの方法で請求してください。（22ページ参照） *印を付した学生募集要項については、封筒の表に「〇〇募集要項請求」と朱書き、返信用封筒（角型2号「縦33cm×横24cm」の大きさのものに所定額の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの）を同封して下記宛に請求してください。

照会及び請求先

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

浜松医科大学入試課入学試験係

電話:053-435-2205 FAX:053-433-7290 E-mail:nyushi@hama-med.ac.jp

Ⅶ 個別入学資格審査の実施について

学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づき、本学の入学資格の審査を受けようとする人は、次のとおり手続き願います。

1 申請期間

第1回目 令和元年8月19日（月）～令和元年9月6日（金）

第2回目 令和2年1月6日（月）～令和2年1月10日（金）

2 必要書類

次に掲げる書類のうち該当するものを提出してください。

- (1) 入学資格（出願資格）認定申請書
- (2) 最終出身学校長が作成した卒業証明書又は卒業見込証明書
- (3) 最終出身学校長が作成した調査書（文部科学省が定める様式に準ずるもの）
- (4) 最終出身学校の校則、教育課程に係る規程及び学校案内等
- (5) 学習歴、実務経験歴又は取得資格等を客観的に証明する書類
- (6) その他本学が必要と認める書類

3 その他

入学資格の審査を受けようとする人は、必ず事前に16ページの「照会及び請求先」に電話で連絡し、指示を受けてください。

（参考）「学校教育法施行規則第150条第7号の規定」

第150条 学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (7) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

令和2年度浜松医科大学入学者選抜方法等 (一般入試、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試)

選 抜 方法等		個 別 学 力 検 査 等						専 門 高 校 ・ 総 合 学 科 卒 業 生 選 抜						アドミッ ション・ オフィス 入 試	個 別 学力検査 等の日程	備 考 〔 欠員の 補充の 方法等 〕																																																																																																																																																																												
		実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等	実 技 検 査 等				実 技 検 査 等	実 技 検 査 等																																																																																																																																																																										
個 別 学 力 検 査 課 する	実 技 検 査 課 する													面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス テ ス ト を 課 す る			第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第 1 段 階 の 選 抜 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う

令和 2 年度浜松医科大学入学者選抜方法等

選 抜 方法等	推 薦			入 試			帰国子女・社会人等のための 入 試				考 備
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を 免除し調査書を主な資料として判定する			実 技 検 査 等			推薦入 試募集 人 員				
学部・ 学科名	個別学力 検査を免 除し、大 学入試セ ンター 試験を課 する	個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	実技検 査を課 する	面 接 を行う	小論文 を課す る	外国語にお けるリス ティング テスト を課する	適性検査	帰 国 子 女	中国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人	私 費 外 国 人 留 学 生
	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○
医学部 医学科											
医学部 看護学科	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×

令和 2 年度浜松医科大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度〕 〔志願倍率〕		学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個 別 学 力 検 査 等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等		
医学部 〔4.0〕	医学科	前期 2月25日・ 26日	国 地歴 公民 数 理 外	科 目 名 等 国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化、生から2 英 (リスニングを含む。) 〔5教科7科目〕	教科等	科 目 名 等 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物、化基・化、生基から2 コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接 その他 小論文、面接	2段階 選抜	試験の区分	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	総合 問題	小論文	面 接	配点 合計	推薦 帰国子女 私費外国人	
160人 前期 106 後期 14 その他 20	前期 66	後期					4 倍	センター試験	100	* 50	* 50	100	100	100	100				450	
	後期 14	3月12日						個別学力検査				200	200	200	200		100	700		
	その他 20						計	計	100	* 50	* 50	300	300	300	300		100	1,150		
その他 40	看護学科	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数Ⅱ・数A、数Ⅱ、 数Ⅱ・数B、簿、情報 物基、化基、生基から2又は物、化、生から1 英 (リスニングを含む。) 〔5教科5又は6科目〕			10倍	センター試験	200	* 100	* 100	200	200	200				900		
	60人	2月25日						個別学力検査								100	250	350		
	前期 40 その他 20						計	計	200	* 100	* 100	200	200	200	200		100	250	1,250	
その他 40	看護学科	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数Ⅱ・数A、数Ⅱ、 数Ⅱ・数B、簿、情報 物基、化基、生基から2又は物、化、生から1 英 (リスニングを含む。) 〔5教科5又は6科目〕	外 その他	コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・ 英語表現Ⅰ 面接		センター試験	200	* 100	* 100	100	100	200				700		
	60人	2月25日						個別学力検査						200			50	250		推薦 帰国子女 社会人
	前期 40 その他 20						計	計	200	* 100	* 100	100	100	400			50	950		欠員の補 充は追加 合格によ る。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

・指定した教科・科目数を超えて受験した場合には、第1解答科目の成績を利用する。ただし、看護学科については、以下のとおりとする。

○数学においては、高得点の科目の成績を利用する。

○理科において、「物基、化基、生基から2科目」及び「物、化、生から1科目」を選択した場合は、いずれか高得点の成績を利用する。

・「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限る。

【個別学力検査等】欄

・「数列」及び「ベクトル」の2項目を出題範囲とする。

・「数学B」は、「数列」及び「ベクトル」の2項目を出題範囲とする。

・「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」は、「書くこと」を出題する。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

・配点に*印を付してある教科は選択教科を表す。

令和3年度浜松医科大学入学者選抜（令和2年度実施）について（予告）

1. 入試区分の変更

入試区分の呼称を次のとおり変更します。

- ・一般入試 → 一般選抜
- ・推薦入試 → 学校推薦型選抜

2. 大学入学共通テスト

（1）受験教科・科目

一般選抜及び学校推薦型選抜においては、現行と同様に、医学科においては5教科7科目を、看護学科においては5教科5科目又は6科目を課することとします。また、外国語（英語）については、医学科・看護学科においてリスニングも課することとします。

（2）英語認定試験

英語4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）の総合的な能力を適切に評価するため、一般選抜及び学校推薦型選抜全志願者において大学入学共通テストの英語試験（リスニング含む）に加え、英語認定試験を課します。英語認定試験結果の活用については、CEFR対照表でA2レベル以上に相当する英語力を出願資格として求めます。

【確認方法】

- ①大学入学共通テストにおける認定試験の成績（CEFR対照表でA2レベル以上に相当するもの）
- ②CEFR対照表のA2レベル以上に相当する英語力があると認められることが明記されている高等学校等による証明書
- ③何らかの理由で上記①②のいずれも提出できない者については、その理由を記した理由書

（3）国語・数学の記述式問題の活用

【国語】記述式の段階別成績表示の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点して活用。

【数学】正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから従来のマークシート式と同様の取扱いとする。

3. 個別学力検査等について

本学のアドミッション・ポリシーに基づき、多面的・総合的に評価するため、学力の3要素の評価を重視して、個別学力検査での記述式問題や小論文や面接等の評価に併せて調査書、推薦書や志願者本人が記載する資料等を活用します。

今後の情報については浜松医科大学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認くださいようお願いいたします。

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/>

令和2年度 浜松医科大学学生募集要項等の請求について

(1) 本学のホームページから請求する場合

本学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

浜松医科大学ホームページ (<http://www.hama-med.ac.jp>)

入試情報 > 医学部(医学科・看護学科) > 募集要項 → “学生募集要項” の「請求方法」欄 → 「テレメール」もしくは「モバっちょ」

(2) インターネット(パソコン・スマホ・ケータイ)または自動音声応答電話で請求する場合

①下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	https://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要。	
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。		

②請求を希望する資料請求番号(6桁)を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
入学者選抜要項	5 8 3 8 8 2	1 4 0 円	6 月 下 旬 頃
大学案内	5 6 3 8 8 2	1 8 0 円	8 月 上 旬 頃
入学者選抜要項+大学案内	5 6 3 8 5 2	2 1 5 円	8 月 上 旬 頃
推薦入試学生募集要項	5 8 3 8 6 2	H P 参 照	8 月 上 旬 頃
一般入試学生募集要項	5 8 3 8 5 2	H P 参 照	1 0 月 下 旬 頃
一般入試学生募集要項+大学案内	5 4 3 8 5 2	H P 参 照	1 0 月 下 旬 頃

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※請求から3~4日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一齐に発送されます。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後一週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です(コンビニ払いは86円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。ゆうちょ銀行・郵便局のATMは150円、窓口は200円。コンビニ払いは消費税率10%時は88円へ変更予定)。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

(1) (2) の請求方法についてのお問い合わせは

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102 (受付時間9:30~18:00) まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロンページが管理運営しています。

(3) 携帯電話サイトから請求する場合

資料請求及び最新情報が入手できます。

下記のアドレスを入力するか、QRコードでアクセスしてください。

<https://daigakuic.jp/hama-med/>



「モバっちょ」 <https://djcm-b.jp/hama-med/>



※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。